

# 10 奈良県保育士等実態調査 有識者検討会

## (1) 目的

各調査の結果及び効果的な対策について検討するため、関係諸分野の方より意見や提言を得ることを目的に実施した。

## (2) 第1回検討会

### ①開催概要

- 開催日時：令和5年12月26日（火）10時00分～12時00分
- 開催場所：奈良県中小企業会館4階会議室
- 出席者：学識経験者、県内保育士養成校、市、県内保育関係者
- 議題
  - (1) 奈良県保育士等実態調査の結果について
  - (2) 調査結果から見えてくる課題及び本県の保育士確保対策(案)について
    - ① 保育士の抜本的な処遇改善
    - ② 保育士の職場環境を自立的に改善する仕組みの構築
    - ③ 保育人材総合相談窓口

### ②有識者からの主な意見・提案等

#### (7) 保育士の抜本的な処遇改善

<現在の保育現場、保育士確保の課題>

- ・保育士の処遇改善はまだ十分でなく、保育士養成校についても定員割れしているようなところもある。継続的に働いてほしいが、離職率も高いのが課題。人間関係や書類業務の多さ、専門性に限らず何でもしないといけないこと、園の格差が大きいことなどから、休んだら復帰したくない、復帰しても非正規で働く人が多いのが特徴となっている。
- ・ICT活用も園の格差が大きく、1人1台のPCがある業界ではなく、監査の面から手書き書類が必要であるなど、非合理的な面が残っている。
- ・保育補助も保育士1人のような扱いになっており、役割が明確になっていない。保育士資格を持つ学生よりも無資格で子育て経験のある人の方が重宝されるといった状況になりかけている。資格職としての専門性の位置付けを明確にしないと、正規、非正規の業務上の違いや福利厚生の違いもなければ、非正規の方がよいとなりかねない。
- ・4割が「休憩が取得できない」のはあり得ないこと。休憩が取れないことが当たり前の風土となっており、離職にもつながっているのではないかと。奈良県は、保育士が草抜きをしていることもあると聞かすが、費用を節約するために保育士が本来すべきでない業務をする状況はなくすべきである。

- ・香芝市、生駒市は子育て世代の人口が増えているが、奈良の保育人材が定着しないのは、大阪へのアクセスもよいことから、奈良県で働く魅力がないため、大阪に魅力を感じ、大阪に流出してしまうというのが現実である。

<保育士の処遇改善、保育士確保にあたり工夫すべきこと、必要なこと>

(処遇改善について)

- ・明石市は子育て支援に力を入れていることで、子育て世代が移り、保育士の給与もここ数年で一気に高くなった。大阪府下でも同様の傾向がみられる自治体がある。情報が簡単に入手できる時代であり、潜在的な保育士や学生は初任給が低い自治体には集まらない。処遇改善に取り組むからには、その取組を分かりやすく広報する必要がある。
- ・保育士の処遇改善に取り組むのは今や当たり前であるので、奈良県として何をするか特色ある取組の検討が必要である。他の自治体の処遇改善と同じ水準に達していないとなれば、人は集まらない。
- ・早朝保育、延長保育の時間帯は非正規職員も集まりにくい。そのような人手が集まらない時間帯に手当をつけるのも有効であると考え。その際には、雇用形態に関わらず手厚く支援しなければ人が集まらない。
- ・機能強化という防災関係など特化したものに使用する資金がある。それを、奈良県独自で草抜きをはじめとした環境整備という名目で使用できる資金としてもよいのではないか。

(保育士確保について)

- ・大阪府が人手不足になったときに取り組んだのは、地域でしっかり働いてくれる保育士を増やすことであり、3年間大阪府で働く条件を設けた地域限定保育士の制度を導入した。保育業界に入っていくやすい取組は必要である。
- ・養成校卒の新卒採用者が一人前の保育士になるには、3年、5年とかかるが、5年勤めたところで辞めてしまうこともある。人材確保、育成について、県として見通しをもって長く続けていける、奈良独自のモデルを作ってほしい。研修の充実も大事だが、まずは人材の確保である。
- ・保育士養成校の学生を増やしたいということであれば、学生に向けた取組が必要であり、現在勤めている保育士への支援を手厚くするのであれば、給与の改善が重要である。
- ・求人票について、給与が詳しく記載されているところもあれば、不透明な施設もあり、ばらばらである。不透明な施設を学生に薦めることはできないため、求人票について、県内で共通し、比較できるようにしてほしい。
- ・新規採用の強化施策についても必要ではないか。

<処遇改善（給与加算）の透明性確保について>

- ・基本給を上げることは園としては死活問題であり、国や県の処遇改善の補助がなくなると、経営が立ち行かない園が続出することが予想される。基本給への加算は難しいかもしれないが、保育士一人一人にこの程度加算があるという点を、透明性をもって確実に表す必要がある。
- ・仮に月々1万円上げた場合、税金や社会保険料の控除があり、現金ベースだと1万円ではなくなることで、社会保険料の法人側の負担がどの程度かも示す必要がある。
- ・処遇改善による加算が正確に保育士に行き渡る透明性は重要である。奈良県は特に不透明であると感じる。

- ・市町村から民間保育施設への補助とその結果報告として何をどのように求めるのかを検討する必要がある。
- ・透明性の確保については、他府県の自治体の情報を集め、一番うまく実施している自治体を例にしてはどうか。手続き等にあたり人手が必要になれば、ICTを活用するとよい。
- ・田原本町では、令和3年度より国の制度による処遇改善を実施している。実績報告として一人一人の個人名が記載された資料の提出や、年に1回監査で現地訪問した際に賃金台帳を確認している。

#### (4) 保育士の職場環境を自立的に改善する仕組みの構築

##### <保育士研究会について>

- ・意見交換会などはやはり対面することで、休憩時間などに他の参加者と話すことができるメリットがある。
- ・意見交換会は対面の方がよいが、奈良県では交通の便が悪い地域も多いためオンラインとうまく併用できればよいのではないかと。
- ・研究会について、資料作りなどの新たな負担や開催地が遠く参加するのが大変といった現場への負担が増えないような取組にしていきたい。
- ・既存の研究会の発表なども現場の負担が大きい状況がある。書類が多くなる、発表しなければならないといったことになっては本末転倒であるので、あくまで負担軽減のための仕組みとなるようにしていきたい。懇親会というよりは、階層別の研修の中で園長、中堅、新任など同じ悩みを共有できるような交流ができればよいのではないかと。
- ・県内保育士対象の研修講師をした際、お互いに自園の指導計画を持参し分析するという試みを行い、参加者間で話してもらった。そうした交流をすることで、他園の取組や苦慮していること、改善していることも分かってくるといえ、各園が自園の取組を公開する等、各園がもっとオープンになればよい。

##### <自立的な仕組みについて>

- ・研修をする場合でも、自分たちで話し合って必要な研修を決めていくことで、「自立的」につながる。
- ・自立するために育成の目標を決めてもよい。教員にある育成指標のようなものを自分たちで作ってみる、という取組もよいのではないかと。幼稚園、保育所の育成指標については、高知県、島根県などが作成しており、参考になる。
- ・育成指標を自分たちで作ることで、「勤務年数〇年目でこんなことができるとよい」という共通認識がはっきりする。それに照らしあわせ、自身の立ち位置が分かることで、他の園に転職しやすくなる面もあるかもしれない。
- ・民間は異動が難しいが、公立と民間で保育士の人事交流をするという取組があってもよいのではないかと。

##### <保育士の確保、マッチング支援について>

- ・結婚などの環境変化があった際に、ハローワークに行かなくても、結婚後の環境でも働ける園を優先的に紹介できるようなシステムがあれば、県内でそのまま働いてもらえるのではないかと。
- ・職員数が少ない園や、公立で一園しかない場合には異動もなく、先のキャリアパスが見えにくいことで保育職から離れる人もいる。

- ・看護師であれば看護師協会に自身でエントリーし、就職先を探してもらったり、マッチングできたりするシステムがある。奈良県独自で、県内の保育士が辞めるとなった際に、転職を考えている保育士が登録して、園側も求人したい時にそこを通してマッチングするようなシステムが作れないか。
- ・既存の保育士バンクの見直しにより、拡充したマッチングシステム実現できるのではないか。その中に相談業務も位置づけるとよい。
- ・医療的ケアを行いたい人、乳児保育、幼児保育、病児保育を行いたい人、大きな園がよい人、小さな園がよい人などさまざまであるが、窓口に行けば、やりたいことに特化した園を紹介してもらえる等、マッチングができれば人材確保がうまくいくのではないか。
- ・法人によって給与が異なるので難しいかもしれないが、他園で働くことによって違いがみえるよう、例えば、市町村単位で保育士をシェアするといった他園へ移りやすくするようなシステムも考えてもよいかもしれない。
- ・保育は、地域性や保護者の理念、園の理念や方針により、園によって特徴がばらばらである。一年程度他の園へ出向する、というような取組もよいかもしれない。

#### (ウ) 保育人材総合相談窓口

<相談窓口の体制について>

- ・相談の受付は常にオープンにして事務局が担当し、相談内容に沿った専門の方に都度お願いするのはどうか。1つのケースが長引く場合には、信頼関係上、同じ方が対応できる仕組みがよい。
- ・相談窓口について、社会福祉士、精神保健福祉士などの専門職に対応いただくのはよいが、現場の保育のことを理解してもらえるかは懸念がある。電話相談でどこまで現場の悩みが伝わるか。保育士経験者でも世代が異なると保育の考えが違う部分や世代間ギャップもある。
- ・子どもの発達に関する相談を受けるのか、保育士の辞めたいという相談を受けるのか、どのような相談を受け付けるか位置づけは明確にすべきである。相談内容によっては、より専門家につなぐといった二段構えで対応するのがよいのではないか。
- ・保育士が相談しやすいように、相談日時の検討は必要。特に家庭のある人は、自分の自由な時間は遅い時間帯であることが多い。平日 17 時までといった通常の時間では利用しづらい。
- ・気軽に相談できる、保育のアドバイスをしてもらえるような窓口にし、園の職員室に窓口のカードを置いて電話ができるような場所にすれば、どんどん活用できるのではないか。
- ・人間関係の悩みを抱えている卒業生が多い。人間関係に躓いた時にどこか話せる場があると、また頑張ろうと思えるかもしれない。誰もが気軽に利用でき、かつ相談先をうまく周知できる仕組みがあればありがたい。

### (3) 第2回検討会

#### ①開催概要

- 開催日時：令和6年2月15日（木）13時00分～15時00分
- 開催場所：奈良県中小企業会館4階会議室
- 出席者：学識経験者、市町、県内保育関係者
- 議題
  - (1) 実態調査結果のテーマ別分析について
  - (2) 県の取組（案）について
- ① 保育士処遇改善事業
- ② 保育士の質向上のための研究事業
- ③ 保育人材総合支援事業（相談窓口設置）

#### ②有識者からの主な意見・提案等

##### (7) 保育士処遇改善事業

＜保育士給与等の透明化について＞

- ・処遇改善事業実施にあたり、補助を受ける園には給与等の透明化を求めるとのことだが、補助を受けていない園は、透明化する必要はないと感じるかもしれない。また、透明化を図ることで処遇改善の実施を促進とあるが、県が市町村にどのような働きかけをしていくかが重要である。
- ・これまで市町村より補助をもらっている施設でも、給与等の透明化をしたくないために、補助をもらわず独自負担する施設も出てくるのではないかと。
- ・茨城県のように、1歳児の保育士配置への補助制度は、給与等の情報を公表してでも実施したいという施設もあると思うが、今回の処遇改善が同様の考えになるか難しいと感じる。一法人一施設の場合、そこまでして加算しなくてよいとなるかもしれない。
- ・複数の市町村にまたがって同じ経営者が園を運営しており、一方の市町村のみ処遇改善を実施しているという場合、同じ経営者であるのに、給与に差があるように見えてしまう可能性がある。
- ・保育は、学校教育と違い最低賃金の関係で市町村の格差があり、民間はさらにその格差が大きい。実態を公表することは正当なことなので、透明化は進めるべきだが、透明化により、給与等を公表することでますます人が集まらないといった意見が保育現場から出る可能性は考えられる。

＜キャリア認定制度認定者の在籍を要件とすることについて＞

- ・小規模施設は職員が少ないため、キャリア認定制度のグレード3認定を取るための研修に参加しにくいのではないかと。補助を出す上で条件を付けるのは理解できるが、制度を利用してもらい、奈良県で勤めようと思う保育士が増えるよう取り組みやすさとのバランスを考えていただきたい。
- ・補助を受けるために、処遇改善加算Ⅰ、Ⅱを実施すること、給与等の公表、キャリア認定制度のグレード3認定者の在籍という3つの条件すべてを満たさないといけなくなると、負担を感じ、補助をもらえなくてもよいと考える施設もあるだろう。
- ・市でも、グレード3認定者にかかる要件がハードルが高いと感じている。

- ・グレード3研修の認定者がいることが、処遇改善を受ける要件になるとすれば、研修の応募者も増えることが考えられるため、受け皿の整備が必要と考える。

#### (4) 保育士の質向上のための研究事業

<研究会での取組内容について>

(地域の子どもへの保育の魅力発信)

- ・処遇改善のためのキャリアパス研修に行くだけでも精一杯な中で、自分のための研修ならばまだしも、何のための研究会か明確でない集まりへはなかなか参加しようと思えない。保育の魅力発信のための取組を考える目的で研究会を開催してはどうか。地域の中高生に対して、保育の現場体験だけで終わらず、保育士っていいなと思ってもらえるような魅力発信に取り組み、その報告を県にあげ、県が好事例をまとめて発信し、他の園にも取組が広がるなど好循環できるようなものがあれば良いのではと思う。
- ・保育の質向上のための研究事業の現在の枠組みはそのまま残しておいたらよい。その上で、中学生を対象とした取組、高校生を対象とした取組、大学生を対象とした取組、現職者を対象とした取組とし、現職者の中に、今挙げているさまざまな取組内容を入れてもいいかもしれない。中高校生、大学生に働きかけることは、県の大きな特徴になる。他の都道府県は行っていないと思う。
- ・小学生対象の取組から入れた方がよいだろう。卒園してすぐの方が保育園に親しみがある。その後、中学へ行って体験、高校へ行ってまた体験、と体験を繰り返すことで、子育ての大事さや、自分たちもこうして大きくなったのか、と見方も変わると思う。それが未来の子育てする人を育てるということになるし、受け入れた側も子どもたちに魅力をどう発信するかを考えてもらう機会にもなる。
- ・保育人材の確保につながるような魅力発信など、自分の園にもプラスに返ってくるような取組を考えるための会にできると、結果として保育の質にもつながっていくのではないか。
- ・アンケート調査の報告で、良い取組をしているところ、居心地の良さそうなところは人員が足りており辞めない。現場と中高生が地域でつながり保育の場が潰れないよう、早くに保育人材の種が撒けるような事業はどうか。
- ・単純に今いる保育士への資質・能力向上の取組だけでは、現状で十分と言われてしまう可能性や、これ以上取組を増やすのかと押しつけのように思われる可能性もある。保育の魅力を地域の子どもたちに伝え、子どもが保育の現場に戻るような取組が効果的に思う。

(子どもの意見を取り入れる工夫)

- ・子どもの意見を聞くというのが国でも大きなトレンドになっている中で、職場体験に来た子どもに、子どもの時にどうしてほしかったかなど意見を聞いて、それを保育に取り入れるなどもよいのではないか。具体的な取組を現場の負担にならないような視点で考え、かつ、次の人材育成や子育て支援に子どもの意見を取り入れるということができれば、奈良県の良い特長になると思う。
- ・子どもの意見を聞くのは難しい。保育現場に来た子どもに聞くのは良いアプローチになるだろう。子ども会議のようなものを作って意見を聞くより現実的な取組であるし、市町村の違いも出てくるのではないか。

#### <研究会の運営について>

##### (研究会の運営のあり方について)

- ・研究会を継続して運営していくにあたり、県が管理するのは難しいのではないかと。保育士会でも勉強会をしており、その勉強会に手当をつけるなどの方が、保育士が自主的に取り組めてよいのではないかと。やらされる形になるのはよくない。主体的に自分たちのために考えないと続かないと思う。
- ・市町村を超えて保育士が働きやすい環境を自分たちで考える話し合いの場を持つことが必要だと思う。働きやすい環境づくりの実現化・具現化を考えたい人を集めて、保育士が自分たちで考え取り組んでいくものに、県が支援すればやりやすいのではないかと。やらせる事業ではなく、やりたい事業でないと続かない。園長レベルなら手当も関係ないので、夜などに集まることも可能だが、職員だと手当も人員の補充も考えないといけない。
- ・人手不足の状況下で再々出て行き会議ができるかという点も難しい。市町村の主任以上が参加する委員会を月一回実施しているが、クラス担任をしていないから参加できるというのものもある。若い保育士に研究会に参加してもらえようと県内市長よりご意見があったようだが、若い保育士を研究会に出せる余力が各施設にどれだけあるのか。研究会はもっと環境が整ってからの方がよいようにも思う。
- ・対面形式とオンライン形式の併用だが、併用の仕方がある程度考える必要がある。例えば、対面だとグループワークができるが、オンラインだとグループワークはやりにくい。1つの研究会で対面とオンライン両方で実施するのは難しいと思う。

##### (研究会参加者の人選について)

- ・園にこういった資質の職員がいるのか、各園の園長がやはり一番分かっていると思う。それぞれの園長に声を掛けると、研究会への参加に適している保育士を推薦してくれるだろう。
- ・「奈良県保育の質向上のための研究会」という名称が魅力的でない。中学生が来た場合どうするか、小学生が来た場合どうするか、マニュアルとまではいなくてもある程度の方針の提示は必要ではないか。

#### (ウ) 保育人材総合支援事業（相談窓口設置）

##### <相談窓口の対応者、運用について>

##### (相談対応者について)

- ・相談窓口の対応を元園長・元主任が担当するのはよいが、現在の処遇改善を十分に理解されている人が担当しないと、現在の処遇改善の方向に適さない回答をしてしまう可能性もある。相談対応者は、園長経験があるから問題ないということにはならない。
- ・相談内容に応じて臨床心理士の専門家に引継ぐ案があるが、一次対応を臨床心理士がする方がよいのではないかと。臨床心理士は傾聴ができるので、最初に臨床心理士に話を聞いてもらい、保育の内容の場合に園長経験者につなぐ、という流れの方がよいのではないかと。

##### (相談窓口の運用について)

- ・相談対応者から相談者の情報が漏れないよう十分に気を付ける必要がある。相談者が特定されてしまうと、誰も使わない窓口になってしまう。相談者が特定されることで、余計に園に居づらくなり、辞めることになるといった本末転倒なことになってしまう可能性もある。

- ・窓口を2つにし、メンタル面の相談窓口と人材バンクにつながる窓口と、利用者が選べるようにするのがよいのではないか。

<相談窓口の啓発について>

- ・広報・啓発カードは個人に行き渡るようにしないといけないため、園ではなく保育士全員に配布するのが望ましい。手元に持っておき、何かあった時に使用できるとよい。
- ・保育協議会が発行している季刊誌や保育士会だよりと一緒に配布すると、登録している保育士に確実に行き渡るので、そうした方法がよいのではないか。保育協議会は奈良県下の公立、民間の認可園が全て入っている。一部、合併し脱退したような施設には、市町村を通して渡す方がよいだろう。
- ・保育士会の常任委員会も毎月行っており、各市町村から出席されるので、そうした場で県より主旨を紹介した上で配るのもよい。



# 1 1 奈良県の取組について

## 保育士の処遇改善と確保対策案

### 3つの取組

- 1 保育士処遇改善事業
- 2 保育の質向上のための研究事業
- 3 保育人材総合支援事業（相談窓口設置）

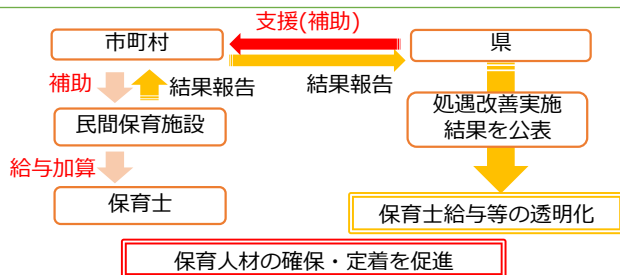
## 1 保育士処遇改善事業

### 事業の目的

県内保育士の処遇改善を実施し、民間保育所等における保育士給与等の透明化を図ることにより、保育人材の確保・定着を促進する。

### 事業の概要

- 常勤保育士の処遇改善(給与加算)を実施する  
市町村に対して、その事業に要する経費を補助
- 施設における処遇改善実施状況を公表し、  
保育士給与等を透明化

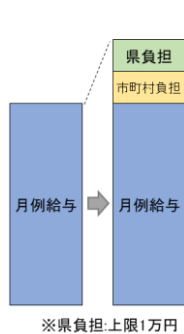


### 実施主体等

- ◆**実施主体**：市町村
- ◆**補助率**：給与加算実施に要する経費の1/2  
(上限：1万円/人・月)
- ◆**対象施設・者**  
民間の保育所、幼保連携型認定こども園、  
保育所型認定こども園、幼稚園型認定  
こども園、地域型保育事業所に勤務する  
常勤保育士
- ◆**補助要件**
  - ①処遇改善等加算Ⅰ及び処遇改善等加算Ⅱ  
を実施すること
  - ②前年度の保育士給与等を公表すること
  - ③県のキャリア認定制度のグレード3研修  
認定者が在籍していること(当面の間、  
経過措置を設ける)

### 補助のイメージ

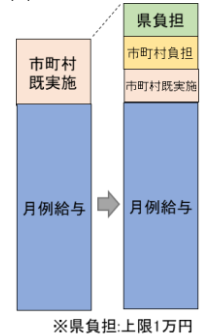
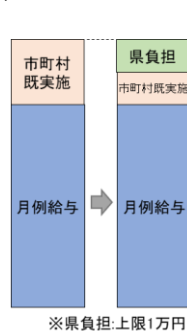
○新たに事業に  
取り組む場合



○既に事業に取り組んでいる場合

(1)改善額の変更なし

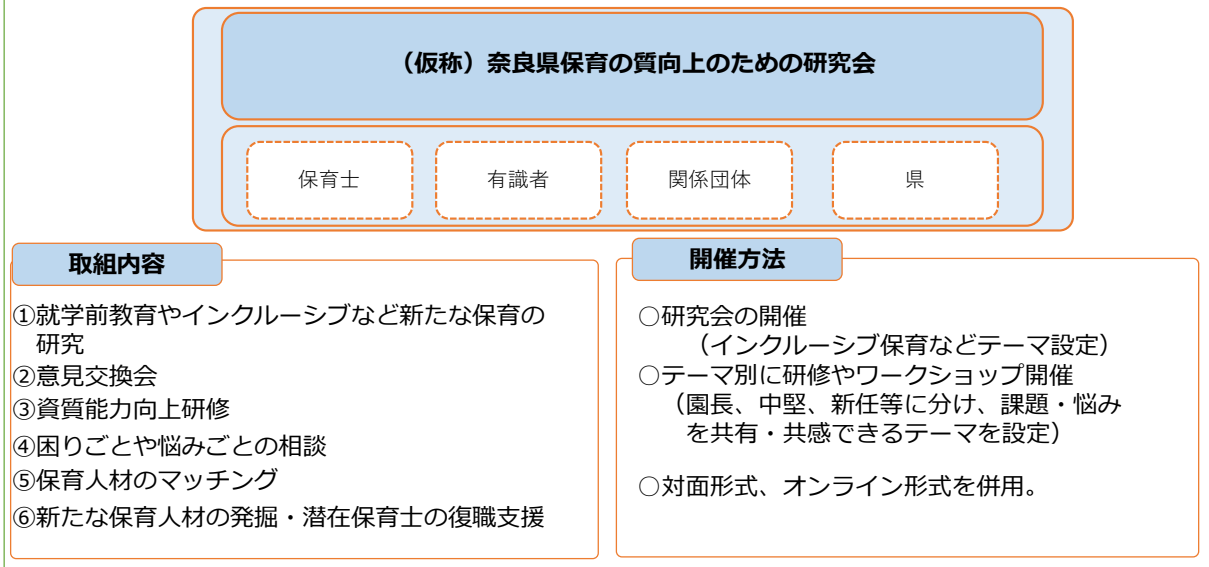
(2)改善額の変更あり



## 2 保育の質向上のための研究事業

保育士自らが健康で安心して働き続けることができる環境づくり、保育の質の向上を検討・改善する機会が必要。

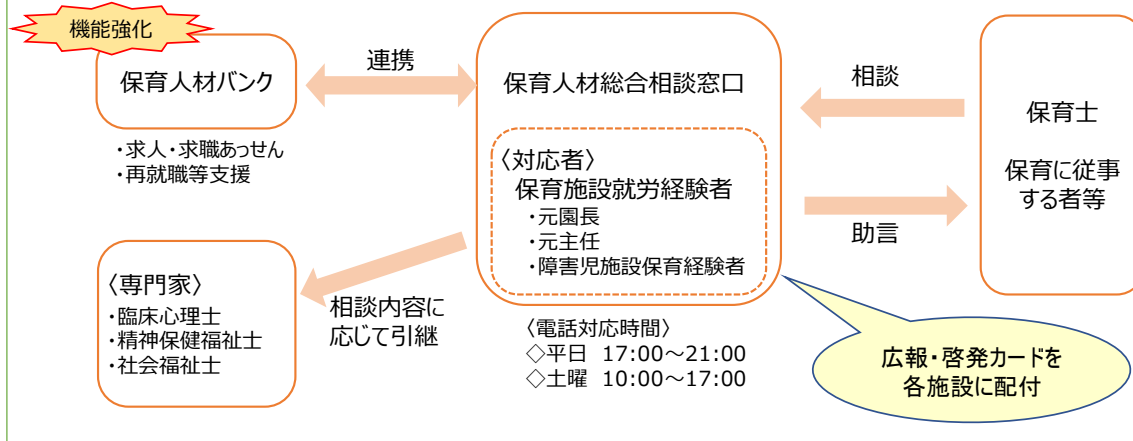
- 多様な施設で就労する保育士が交流する場（研究会）を設置。
- 保育現場で共通する課題などを保育士同士で共有するとともに、保育環境の改善や働き方改革、課題解決策について研究し研鑽。



## 3 保育人材総合支援事業（相談窓口設置）

保育現場での悩みや課題について職場外で相談できる環境の整備を行うことにより、保育士等が安心して就労を継続する仕組みが必要。

- 保育人材の退職の主な要因となっている職場の人間関係や発達に課題のある児童への対応、保護者への対応など、職場以外でも保育士等が相談できる窓口を設置。
- 専門家や経験者等による効果的な助言を行うことで、保育士等の不安を緩和し、就労継続を促進。



## 参 考 资 料

# 保育施設 調査票

回答の入力方法・注意事項は別シート(「調査の趣旨・回答の入力方法等」)に記載しておりますので、ご一読ください。

[調査の趣旨・回答の入力方法等](#)

## 貴施設について

貴施設名について記入してください。

施設名		設立年		年
施設所在地コード		※「コード表」シートを参照し該当する市町村のコードを入力してください。(6ケタ、半角で入力ください)		
市町村名	#N/A	※自治体名が正しく表示されているか、ご確認ください。		

問1 貴施設の類型をお教えてください。(あてはまるもの1つに○)

	1	保育所	
	2	認定こども園	
	3	小規模保育事業	
	4	家庭的保育事業	
	5	特例保育事業	
	6	事業所内保育事業(院内保育施設含む)	
	7	認可外保育施設(企業主導型保育事業を除く)	
	8	企業主導型保育事業	
	9	ベビーホテル	
	10	その他	→ 具体的に

問2 貴施設の運営主体をお教えてください。(あてはまるもの1つに○)

	1	公営	⇒問3へ
	2	民営	⇒問2-1①、②へ
	3	その他	→ 具体的に

問2で、運営主体が民間の場合、下記の間2-1①、②についてお伺いします。

問2-1① 母体の法人が運営する保育施設数  園  
※県内外問わずお答えください。(例.県内に保育所3園、県外に認定こども園2園の場合は5園)

問2-1② 母体の法人が運営する保育施設以外の事業展開 → 具体的に   
※県内外問わず  
※保育施設以外の事業がない場合は、空欄でかまいません。

## 貴施設の職員体制について

問3 貴施設の職員体制についてお伺いします。下記の職種別の職員数をお答えください。  
 ※令和5年8月1日現在でお答えください。

	正規職員	非正規職員 (常勤換算※)
保育士(保育士、保育教諭)	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
保育補助者(保育士資格なし)	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

※非常勤の1か月の勤務時間の合計÷就業規則等で定めた常勤の1か月の勤務時間  
 (貴施設でよく使用される常勤換算の方法があればそちらでかまいません)

問4 貴施設の利用定員、および年齢別の現員についてお伺いします。※令和5年8月1日現在でお答えください。  
 また、各年齢における現在の保育士の配置数、および理想の保育を行うために必要な保育士の配置数についても記載ください。

定員(0~5歳児の合計)	<input type="text"/> 人		
	現員数	保育士の配置数 (常勤換算)	理想の保育に必要な保育士の配置数 (常勤換算)
0歳児	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
1歳児	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
2歳児	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
3歳児	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
4歳児	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
5歳児	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

## 貴施設の保育士の就労・処遇について

※可能であれば令和4年度でお答えください。

問5 貴施設の正規職員(常勤)である保育士の週当たりの平均的な(時間外勤務を含む)実働時間は何時間かお教えてください。

1週間当たりの平均実働時間  時間/1週間

問6 貴施設の正規職員(常勤)の待遇等についてお教えてください。※令和4年度末

①正規職員の初任保育士の給与(年間)  万円

②正規職員の保育士の平均年齢  歳

③正規職員の保育士の平均勤続年数(加算申請していない施設のみ)  年  か月

④正規職員の保育士の平均給与(年間)  万円

注1)①初任保育士の給与については、貴施設の給与表にある短大卒新任保育士の額を用いて、およその年間額をお答えください。  
 注2)②～④の保育士(初任・主任を含む)には、施設長は除いて記入してください。年齢と勤続年数は平均値をご記入ください。(平均年齢は小数点以下第2位を四捨五入してご記入ください。)  
 注3)③勤続年数とは、貴施設を運営する法人等における勤続年数とします。公立の場合は、当該自治体における保育所等での勤務経験年数(他保育所での勤務も含む)をお答えください。  
 注4)④保育士(初任・主任を含む)の給与等は、賞与を含む昨年の給与支給総額を計算してください。なお、社会保険料、所得税等の控除前の額となります。

問7 貴施設における保育士の非正規職員(常勤)の現状についてお教えてください。※令和4年度末(あてはまるものすべてに○)

- 1 直接契約(パート、アルバイト、契約社員、会計年度任用職員等)している保育士がいる
- 2 間接契約(派遣社員等)している保育士がいる
- 3 どちらの保育士もない ⇒問8へ

問7で、直接契約している保育士がいると回答した施設にお伺いします。

問7-1 貴施設において直接契約している非正規職員である保育士についてお答えください。※令和4年度末

直接契約している保育士の平均年齢  歳

直接契約している保育士の平均勤続年数  年  か月

直接契約している保育士の平均給与(年間)  万円

※回答にあたっては、問6の注を参考にしてください。

問7で、間接契約している保育士がいると回答した施設にお伺いします。

問7-2 貴施設において間接契約している保育士についてお答えください。※令和4年度末

間接契約している保育士の平均年齢	[ ] 歳	
間接契約している保育士の平均勤続年数	[ ] 年	[ ] か月

※回答にあたっては、問6の注を参考にしてください。

全施設におうかがいします

問8 貴施設における新規保育士の採用状況について教えてください。(令和2年～4年度)

	新規の保育士の採用数	うち正規職員の保育士数
令和2年度	[ ] 人	[ ] 人
令和3年度	[ ] 人	[ ] 人
令和4年度	[ ] 人	[ ] 人

問9 貴施設において、令和4年度の新卒(R4.3月卒業)の保育士の採用者の状況をお教えてください。(いない場合は0と回答ください)

正規・新卒の保育士の採用数	[ ] 人
うち県内養成施設卒業者	[ ] 人
うち県外養成施設卒業者	[ ] 人
非正規・新卒の保育士の採用数	[ ] 人

問10 貴施設における保育士の退職について教えてください。(令和2年～4年度)  
(令和2～4年度に退職者がいない場合は0と回答し、問11へお進みください。)

	保育士の退職者数	うち正規職員の保育士の退職者数
令和2年度	[ ] 人	[ ] 人
令和3年度	[ ] 人	[ ] 人
令和4年度	[ ] 人	[ ] 人

問10で、「令和2～4年度に退職した保育士がいる」施設にお伺いします。

問10-1 退職した保育士の人数を**貴施設での勤続年数ごと**にお答えください(それぞれ**3年間の合計**)

退職した保育士数 ※正規・非正規関係なくお答えください

1年未満		人
1～3年未満		人
3～5年未満		人
5～10年未満		人
10年以上		人

全施設におうかがいします

問11 貴施設ではこの3年間(令和2～4年度)において、保育士は予定通り採用できましたか。

- |  |   |   |
|--|---|---|
|  | 1 | 正規職員の保育士は予定数どおり採用できた                      |
|  | 2 | 正規職員の保育士は予定数どおり採用できなかったが、非正規の保育士で補うことができた |
|  | 3 | 正規・非正規の保育士とも予定数どおり採用できなかった                |
|  | 4 | その他 → 具体的に <input type="text"/>           |
|  | 5 | 採用予定がなかった                                 |

貴施設における職員の職場定着について

問12① 貴施設において、現在、職場定着のために取り組んでいることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |  |    |                                 |
|--|----|---------------------------------|
|  | 1  | 給与の引き上げ                         |
|  | 2  | 時間外労働の短縮                        |
|  | 3  | 多様なシフト運用                        |
|  | 4  | 休憩・休暇を取得しやすい環境の整備               |
|  | 5  | 職員の子育て支援体制の充実                   |
|  | 6  | キャリアアップの仕組みの構築(経験年数に応じた昇給、昇格など) |
|  | 7  | 研修内容の充実や研修受講環境の整備               |
|  | 8  | 人材育成制度の充実(メンター制度等)              |
|  | 9  | 作成書類の軽減、事務作業の効率化                |
|  | 10 | 福利厚生 の 充実                       |
|  | 11 | メンタルヘルス対策                       |
|  | 12 | 相談窓口の設置                         |
|  | 13 | 苦情や意見等への対応体制の整備                 |
|  | 14 | 職場のなごやかな雰囲気づくり                  |
|  | 15 | 職員間のコミュニケーションの充実                |
|  | 16 | その他 → 具体的に <input type="text"/> |
|  | 17 | 特にない                            |



問12② 貴施設において、今後、職場定着のために取り組みたいと思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

<input type="checkbox"/>	1	給与の引き上げ	
<input type="checkbox"/>	2	時間外労働の短縮	
<input type="checkbox"/>	3	多様なシフト運用	
<input type="checkbox"/>	4	休憩・休暇を取得しやすい環境の整備	
<input type="checkbox"/>	5	職員の子育て支援体制の充実	
<input type="checkbox"/>	6	キャリアアップの仕組みの構築(経験年数に応じた昇給、昇格など)	
<input type="checkbox"/>	7	研修内容の充実や研修受講環境の整備	
<input type="checkbox"/>	8	人材育成制度の充実(メンター制度等)	
<input type="checkbox"/>	9	作成書類の軽減、事務作業の効率化	
<input type="checkbox"/>	10	福利厚生の充実	
<input type="checkbox"/>	11	メンタルヘルス対策	
<input type="checkbox"/>	12	相談窓口の設置	
<input type="checkbox"/>	13	苦情や意見等への対応体制の整備	
<input type="checkbox"/>	14	職場のなごやかな雰囲気づくり	
<input type="checkbox"/>	15	職員間のコミュニケーションの充実	
<input type="checkbox"/>	16	その他 → 具体的に	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	17	特にない	

問13 貴施設において、園(自治体)独自のキャリアアップ制度(経験年数や技能に応じたキャリアアップ(役職、給与)の仕組み)はありますか。(いずれか1つに○)

<input type="checkbox"/>	1	ある → 具体的に	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	2	ない	

問14 貴施設において、園(自治体)独自のメンター制度等人材育成の取組はありますか。(いずれか1つに○)

<input type="checkbox"/>	1	ある → 具体的に	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	2	ない	

問15 貴施設において保育士の確保や定着の促進で課題と感じていることやその課題への対応で工夫していることがあればお教えてください。

<input type="text"/>
----------------------

## 現場における負担感について

問16 貴施設において、現在保育の現場で対応が難しいと感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

<input type="checkbox"/>	1	保護者への対応	
<input type="checkbox"/>	2	地域への対応	
<input type="checkbox"/>	3	食物アレルギーへの対応	
<input type="checkbox"/>	4	離乳食への対応	
<input type="checkbox"/>	5	障がい児保育	
<input type="checkbox"/>	6	発達に課題のある児童への対応	
<input type="checkbox"/>	7	保育士1人でみる子どもの数が多い	
<input type="checkbox"/>	8	衛生管理	
<input type="checkbox"/>	9	事故対応	
<input type="checkbox"/>	10	地域の子育て支援	
<input type="checkbox"/>	11	人材育成	
<input type="checkbox"/>	12	その他	→ 具体的に <input type="text"/>

問17 貴施設における、保護者からの苦情・意見など保護者対応に関する現状や、園で定めている対応方針について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)

<input type="checkbox"/>	1	保護者からの意見や要求等に対して、園として組織的な対応をする	
<input type="checkbox"/>	2	保護者対応に困った際に、上司や園長等にいつでも相談できる体制がある	
<input type="checkbox"/>	3	保護者からの意見対応のための、第三者委員の設置等、第三者が入った対応、解決の仕組みがある	
<input type="checkbox"/>	4	いつでも相談できる弁護士の配置や派遣ができる仕組みがある	
<input type="checkbox"/>	5	保護者からの意見等を受け付ける窓口を一元化している	
<input type="checkbox"/>	6	保護者対応に関するマニュアルを作成している	
<input type="checkbox"/>	7	保護者対応に関する研修の実施	
<input type="checkbox"/>	8	園から保護者への呼びかけや注意喚起	
<input type="checkbox"/>	9	園として保育内容や保育の方針等を明示し、園運営に関する保護者の理解増進を図る	
<input type="checkbox"/>	10	その他	→ 具体的に <input type="text"/>

## 保育の質を向上させるための取組について

問18① 貴施設において、保育の質を向上させるために現在、取り組んでいることについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

<input type="checkbox"/>	1	研修の実施	
<input type="checkbox"/>	2	事務作業の効率化	
<input type="checkbox"/>	3	休憩時間や休日が取得しやすい等、働きやすい環境づくり	
<input type="checkbox"/>	4	職員間の信頼関係づくり、良好な関係づくり	
<input type="checkbox"/>	5	給与や待遇改善による人材の確保	
<input type="checkbox"/>	6	キャリアパスの仕組みの構築	
<input type="checkbox"/>	7	正規職員の増員	
<input type="checkbox"/>	8	先進的な取り組みをしている他施設への見学	
<input type="checkbox"/>	9	その他 → 具体的に	<input type="text"/>

問18② 貴施設において、保育の質を向上させるために、今後取り組みたいことについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

<input type="checkbox"/>	1	研修の実施	
<input type="checkbox"/>	2	事務作業の効率化	
<input type="checkbox"/>	3	休憩時間や休日が取得しやすい等、働きやすい環境づくり	
<input type="checkbox"/>	4	職員間の信頼関係づくり、良好な関係づくり	
<input type="checkbox"/>	5	給与や待遇改善による人材の確保	
<input type="checkbox"/>	6	キャリアパスの仕組みの構築	
<input type="checkbox"/>	7	正規職員の増員	
<input type="checkbox"/>	8	先進的な取り組みをしている他施設への見学	
<input type="checkbox"/>	9	その他 → 具体的に	<input type="text"/>

問19 保育の質を向上させるための課題とその課題解決にあたり行政に望むことは何ですか。

<input type="text"/>
----------------------

## 働き方改革への取組について

問20① 貴施設における、PC、タブレットの整備状況についてお答えください。(台数は数字で記入、選択肢はいずれか1つに○)

PC、タブレット等の台数

 台


- 1 (おおむね)1人1台
- 2 数名に1台(各クラスに1台)
- 3 職員室にのみ設置
- 4 その他 → 具体的に

問20② 貴施設における、Wi-Fiの整備状況についてお答えください。(いずれか1つに○)


- 1 園内どこでも利用可
- 2 園内の限られた場所で利用可
- 3 その他 → 具体的に
- 4 園内にはWi-Fiはない

貴施設においては、職員が安心して働き続けられるように、負担軽減のための業務方法の見直しなど、働き方改革の取組はされていますか。(いずれか1つに○)

問21

(例)保護者との情報共有や登降園管理などへのICTの活用、保育補助者の活用、記録・書類業務の見直し・工夫、休暇・休憩がとりやすいシフト運用など


- 1 している ⇒問21-1へ
- 2 していない ⇒問22へ
- 3 今後取り組む予定 ⇒問21-2へ

問21で、「1 している」と回答した施設にお伺いします。

問21-1 下記の項目について、  
(1)取組の有無、(2)取組内容、(3)取組による業務負担軽減への効果 をそれぞれお答えください。

	(1)取組の有無		(2)具体的な取組内容		(3)業務負担軽減への効果
	↓取組がある項目に○		(1)で○をつけた項目について、下記に記載ください。		下記の選択肢より該当する数字を選んでください。
①ICTの活用 (例:保護者との情報共有・お知らせ、登降園管理のアプリ活用等)	<input type="checkbox"/>	⇒	<input type="text"/>	⇒	<input type="text"/>
②保育補助者の活用	<input type="checkbox"/>	⇒	<input type="text"/>	⇒	<input type="text"/>
③記録・書類業務の見直し、工夫 (例:保育記録や計画の作成方法や内容の見直し、内容が重複する書類の見直し等)	<input type="checkbox"/>	⇒	<input type="text"/>	⇒	<input type="text"/>
④働き方の見直し (ノンコンタクトタイム※の確保、会議の工夫等)	<input type="checkbox"/>	⇒	<input type="text"/>	⇒	<input type="text"/>
⑤その他	<input type="checkbox"/>	⇒	<input type="text"/>	⇒	<input type="text"/>

※休憩時間とは異なり、勤務時間中に子どもと関わらずに事務作業や打合せなどの業務をする時間のこと

【(3)の選択肢】

1. 軽減された	2. やや軽減された
3. あまり軽減されていない	4. 軽減されていない
5. わからない	

問21で、「3 取り組む予定」と回答した施設にお伺いします。

問21-2 貴施設において、今後どのような働き方改革の取組を行う予定ですか。  
下記項目のうち、あてはまるものをお答えいただき、また取組内容が決まっているものがあれば、ご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

<input type="checkbox"/>	1 ICTの活用 (例:保護者との情報共有・お知らせ、登降園管理のアプリ活用等)	→ 取組内容	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	2 保育補助者の活用	→ 取組内容	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	3 記録・書類業務の見直し、工夫 (例:保育記録や計画の作成方法策や内容の姓見直し、内容が重複する書類の見直し等)	→ 取組内容	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	4 働き方の見直し (ノンコンタクトタイム※の確保、会議の工夫等)	→ 取組内容	<input type="text"/>

問22 貴施設において、業務を支援するアプリやシステムなどICTを導入して(PCやタブレット、スマートフォン等を用いて)業務を行いたいと思いますか。(いずれか1つに○)

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 導入したい           |
| <input type="checkbox"/> | 2 どちらかといえば導入したい   |
| <input type="checkbox"/> | 3 どちらでもない         |
| <input type="checkbox"/> | 4 どちらかといえば導入したくない |
| <input type="checkbox"/> | 5 導入したくない         |
| <input type="checkbox"/> | 6 すでに導入されている      |

問23 働きやすい職場づくりを進めるにあたっての課題とその課題解決にあたり行政に望むことは何ですか。

問24 保育現場で改善したいと思うことや、保育の質の向上等のため必要なこと、また取り組みたいが難しいと思うこと(なぜ難しいのかについても)などあれば、自由に記載ください。

ご回答は以上となります。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

**令和5年8月28日(月)までに、下記専用メールアドレスにご回答いただいたファイルを送信してください。**

専用メールアドレス

### ★保育現場の働き方改革について★

保育現場の働き方改革については、国より下記のガイドラインや事例集が出されています。事例集では、保育現場の業務改善に積極的に取り組まれている園の具体的な事例が掲載されています。ご関心のある方はぜひご覧ください。

○厚生労働省「保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン」(令和3年3月)

[保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン](#)

○厚生労働省「保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン 業務改善実践に向けた事例集」(令和4年3月)

[保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン 業務改善実践に向けた事例集](#)

## 「奈良県保育士等実態調査」調査票

※ご回答いただくWEBフォーム上での問番号と、こちらの見本での問番号は異なりますので、ご注意ください。

## I. あなた自身のことについておうかがいします。

問1 年齢（あてはまる番号1つに○）

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 20～24 歳 | 6. 45～49 歳 |
| 2. 25～29 歳 | 7. 50～54 歳 |
| 3. 30～34 歳 | 8. 55～59 歳 |
| 4. 35～39 歳 | 9. 60 歳以上  |
| 5. 40～44 歳 |            |

問2 性別（あてはまる番号1つに○）

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問3 現在お住いの市町村（あてはまる番号1つに○）

※奈良県内の市町村または県外の選択肢より回答

問4 家計の主たる生計者（あてはまる番号1つに○）

- |          |                |
|----------|----------------|
| 1. あなた自身 | 2. あなた以外（配偶者等） |
|----------|----------------|

問5 子どもの有無（あてはまる番号1つに○）

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. いる ⇒ 問6へ | 2. いない ⇒ 問7へ |
|-------------|--------------|

問6 問5で「1.いる」と回答した方におうかがいします。末子の年齢をお答えください。（あてはまる番号1つに○）

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 0～5 歳（就学前）  | 3. 12～14 歳（中学生）  |
| 2. 6～11 歳（小学生） | 4. 15 歳以上（高校生以上） |

問7 保育士としての就業年数をお答えください。

① 通算就業年数 ※令和5年8月1日現在

（        ）年（        ）か月

② 1 箇所でも最も長く働いた年数（あてはまる番号1つに○）※公立の場合は、1 つの自治体における勤務年数を 1 箇所としてお考えください。

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 1 年未満   | 4. 5～10 年未満 |
| 2. 1～3 年未満 | 5. 10 年以上   |
| 3. 3～5 年未満 |             |

問8 これまでに保育士として勤務した保育所等（保育所、認定こども園）の箇所数について、お答えください。（あてはまる番号1つに○）

- |         |         |           |
|---------|---------|-----------|
| 1. 1 箇所 | 2. 2 箇所 | 3. 3 箇所以上 |
|---------|---------|-----------|

## Ⅱ. 保育士としての勤務状況についておうかがいします。

問9 現在勤務している施設について①～④それぞれお答えください。

①「施設類型」についてお答えください。(主たる勤務場所について1つに○)

- |            |                         |
|------------|-------------------------|
| 1. 保育所     | 6. 事業所内保育事業 (院内保育施設含む)  |
| 2. 認定こども園  | 7. 認可外保育施設 (企業主導型保育を除く) |
| 3. 小規模保育事業 | 8. 企業主導型保育事業            |
| 4. 家庭的保育事業 | 9. ベビーホテル               |
| 5. 特例保育事業  | 10. その他( )              |

②「運営主体」についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 公営 | 2. 民営 |
|-------|-------|

③「所在地」についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

※奈良県内の市町村の選択肢より回答

④「施設規模 (定員)」についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. 5人以下   | 4. 50～99人 |
| 2. 6人～19人 | 5. 100人以上 |
| 3. 20～49人 |           |

問10 あなたの担当クラス等とクラスの人数をお答えください。

①担当クラス等 (あてはまる番号1つに○)

- |                |      |                 |        |
|----------------|------|-----------------|--------|
| 1. 0歳児         | } ②へ | 8. フリー          | } 問11へ |
| 2. 1歳児         |      | 9. 早朝、延長、休日保育担当 |        |
| 3. 2歳児         |      | 10. 障がい児保育      |        |
| 4. 3歳児         |      | 11. その他( )      |        |
| 5. 4歳児         |      |                 |        |
| 6. 5歳児         |      |                 |        |
| 7. 混合クラス ⇒ ②③へ |      |                 |        |

② (1～7を選択した場合) クラスの人数

( ) 人

③ (「7 混合クラス」を選択の場合) 対象の年齢

( ) 歳 ～ ( ) 歳

問11 現在の雇用形態についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- |   |
|---|
| 1. 正職員 (「短時間正職員」を除く)  |
| 2. 短時間正職員<br>(※短時間正職員とは、正職員と比べて所定労働時間が短い正規型の労働者であって労働契約に期間の定めがなく、時間当たりの基本給、賞与、退職金等の算定方法等が正職員と同等である者。) |
| 3. パート・アルバイト・会計年度任用職員   |
| 4. 派遣社員   |
| 5. その他 ( )  |



**問12 現在の役職をお答えください。(あてはまる番号1つに○)**

- |                   |                               |
|-------------------|-------------------------------|
| 1. 園長             | 5. 分野別リーダー等(乳児保育リーダー、食育リーダー等) |
| 2. 副園長            | 6. その他(具体的に )                 |
| 3. 主任保育士(主幹保育士)   | 7. なし                         |
| 4. 副主任保育士(副主幹保育士) |                               |

**問13 現在の就業先に決めた理由をお答えください。(あてはまる番号すべてに○) また、その中でも、特に決め手となった理由は何ですか。**

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 保育理念への共感            | 9. 寮や家賃補助制度があること   |
| 2. 保育所や法人の評判           | 10. 勤務時間・交代制の融通が利く |
| 3. 保育所等の施設や設備充実度(新しさ等) | 11. 休暇が多い、取りやすい    |
| 4. 福利厚生の充実度            | 12. 職員の数           |
| 5. 研修制度の充実度            | 13. 施設の規模          |
| 6. 勤務地(自宅から近い等)        | 14. 雇用が安定している      |
| 7. 給与が高いこと             | 15. その他( )         |
| 8. 昇格制度(キャリアアップ)       |                    |

上記で選択した番号のうち、特に決め手となった理由(あてはまる番号1つ記入) ⇒ ( )

**問14 昨年度(令和4年度)の1週あたりの平均的な労働時間(時間外勤務を含む)は何時間ですか。(あてはまる番号1つに○)**

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 週20時間未満    | 5. 週50~60時間未満 |
| 2. 週20~30時間未満 | 6. 週60時間以上    |
| 3. 週30~40時間未満 | 7. 今年度から働いている |
| 4. 週40~50時間未満 |               |

**問15 昨年度(令和4年度)の1週あたりの平均的な時間外勤務は何時間ですか。(あてはまる番号1つに○)**

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 週1時間未満     | 5. 週16~20時間未満 |
| 2. 週1~5時間未満   | 6. 週21時間以上    |
| 3. 週6~10時間未満  | 7. 今年度から働いている |
| 4. 週11~15時間未満 |               |

**問16 時間外勤務が発生する主な理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)**

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. 保育日誌などの書類作成   | 5. 施設内外の清掃 |
| 2. イベントや行事の準備    | 6. 職員会議    |
| 3. 制作活動などの準備     | 7. 研修      |
| 4. 園内や教室内の掲示物の作成 | 8. その他( )  |

**問17 昼休憩等、休憩時間は十分に取れていますか。(あてはまる番号1つに○)**

- |               |        |                |        |
|---------------|--------|----------------|--------|
| 1. ほぼ完全に取れている | } 問19へ | 4. 取れないことの方が多い | } 問18へ |
| 2. 8割以上取れている  |        | 5. ほぼ取れない      |        |
| 3. 5割程度取れている  |        |                |        |

問18 問17で「4. 取れないことの方が多い」「5. ほぼ取れない」と回答した方におうかがいします。

休憩が取れない主な理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| 1. 保育日誌などの書類作成   | 6. 職員会議                   |
| 2. イベントや行事の準備    | 7. 研修                     |
| 3. 制作活動などの準備     | 8. 人手不足のため保育業務から抜けることが難しい |
| 4. 園内や教室内の掲示物の作成 | 9. その他 ( )                |
| 5. 施設内外の清掃       |                           |

問19 昨年度(令和4年度)、取得可能な有給休暇のうち、どの程度取得できましたか。(あてはまる番号1つに○)

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 1. すべて取得した  | 4. 半分未満しか取得できなかった |
| 2. 8割程度取得した | 5. ほぼ取得できなかった     |
| 3. 5割程度取得した | 6. 今年度から働いている     |

問20 現在の通勤時間についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 15分未満 | 2. 30分未満 | 3. 1時間未満 | 4. 1時間以上 |
|----------|----------|----------|----------|

問21 昨年(令和4年)の年収をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

※今年度から働かれている方は今年の見込みをお答えください。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 103万円未満     | 5. 400～500万円未満 |
| 2. 103～200万円未満 | 6. 500～700万円未満 |
| 3. 200～300万円未満 | 7. 700万円以上     |
| 4. 300～400万円未満 |                |

問22 現在の給与は勤務内容に比べ妥当だと感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

- |            |        |               |        |
|------------|--------|---------------|--------|
| 1. 高いと思う   | } 問24へ | 4. やや安いと思う    | } 問23へ |
| 2. やや高いと思う |        | 5. 安いと思う      |        |
| 3. 妥当と思う   |        | 6. わからない⇒問24へ |        |

問23 問22で「4. やや安いと思う」「5. 安いと思う」と回答した方におうかがいします。その主な理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1. 仕事の量が多い     | 5. 保護者の対応が大変 |
| 2. 職務内容のレベルが高い | 6. 体力的にきつい   |
| 3. 責任が重い       | 7. その他 ( )   |
| 4. 勤務時間が長い     |              |

### Ⅲ. 仕事における不満や負担、やりがいについておうかがいします。

問24 ①～⑫の項目について、現在のあなたの満足度をお答えください。（それぞれあてはまる番号1つに○）

項目	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
① 仕事内容	1	2	3	4	5
② 仕事量	1	2	3	4	5
③ 勤務時間	1	2	3	4	5
④ 通勤時間	1	2	3	4	5
⑤ 給与	1	2	3	4	5
⑥ 休暇の取りやすさ	1	2	3	4	5
⑦ 休憩の取りやすさ	1	2	3	4	5
⑧ 職場の人間関係	1	2	3	4	5
⑨ 保護者との関係性	1	2	3	4	5
⑩ 教育・研修体制	1	2	3	4	5
⑪ キャリアパス（昇給、昇格など）	1	2	3	4	5
⑫ 保育士としてのやりがい	1	2	3	4	5

問25 問24の「⑨保護者との関係性」について、「4. やや不満」「5. 不満」と回答した方におうかがいします。

具体的にどのような点に不満を感じられていますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 子どもへの接し方への注文や指摘が多い
2. 日々の保育の記録や連絡帳等の内容に対する注文や指摘が多い
3. 行事等への注文が多い
4. 保護者への対応への指摘が多い
5. 本来保護者で対応すべきと思われること等に対する過度な要求が多い
6. 保育内容についての過度な要望が多い
7. 新人や若手の保育士へのあたりがきつい
8. 保護者の距離感が近い（馴れ馴れしい言葉遣い、SNSのアカウントを探して連絡してくる、等）
9. 送迎の際に、保育や子どもとは関係のない話を長々とされる
10. その他（ ）

問26 問24の「⑨保護者との関係性」について、「4. やや不満」「5. 不満」と回答した方におうかがいします。

どのような取組やサポートがあれば、保護者との関係性に不満を感じることなく働くことができますか。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 保護者からの意見や要求等に対する、園としての組織的な対応の確立
2. 保護者対応に困った際に、上司や園長等にいつでも相談できる体制がある
3. 保護者からの意見対応のための、第三者委員の設置等、第三者が入った対応、解決の仕組み
4. いつでも相談できる弁護士の配置や派遣
5. 保護者からの意見等を受け付ける窓口の一元化
6. 保護者対応に関するマニュアルの作成
7. 保護者対応に関する研修の実施
8. 園からの保護者への呼びかけや注意喚起
9. 園として保育内容や保育の方針等を明示し、園運営に関する保護者の理解増進を図る
10. その他（ ）

問27 あなたが保育士として働いてこられた中でやりがいに感じることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 自己実現が得られている      | 6. 地域の子育て支援の役に立てた |
| 2. 信頼できる仲間ができた      | 7. 自分の子育ての役に立った   |
| 3. 社会の役に立っている       | 8. 収入が得られている      |
| 4. 子どもの育ちに関わることができた | 9. その他 ( )        |
| 5. 子育てする保護者の役に立てた   | 10. 特にない          |

問28 労働条件や職場環境、園内での保育の方法などについて、あなたが疑問や不満を抱いた際に、職場外の人に相談することはありますか。(あてはまる番号1つに○)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問29 労働条件や職場環境、園内での保育の方法などについて、疑問や不満を抱いた際の相談相手についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 1. 職場の上司    | 5. 家族(パートナー)、親族   |
| 2. 職場の同僚    | 6. 友人、知人          |
| 3. 職場の人事担当者 | 7. その他 ( )        |
| 4. 産業医      | 8. 相談していない、相談先がない |

問30 労働条件や職場環境、園内での保育の方法などについて相談できる、職場とは切り離された相談機関があれば活用したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1. 活用したい          | 3. 活用するつもりはない |
| 2. 相談内容によっては活用したい | 4. その他 ( )    |

問31 あなたは、現在保育の現場で対応が難しいと感じていることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

そのうち、最も難しいもの、負担感が大きいものはどれですか。

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 保護者への対応        | 7. 保育士1人でみる子どもの数が多い |
| 2. 地域への対応         | 8. 衛生管理             |
| 3. 食物アレルギーへの対応    | 9. 事故対応             |
| 4. 離乳食への対応        | 10. 地域の子育て支援        |
| 5. 障がい児保育         | 11. その他 ( )         |
| 6. 発達に課題のある児童への対応 |                     |

上記で選択した番号のうち、最も難しいもの、負担感が大きいもの(あてはまる番号1つ記入) ⇒ ( )

問32 問31で選択した、保育の現場で対応が最も難しいもの、負担感が大きいものについて、どのような支援や取組等があれば、負担の軽減につながるとお考えですか。(自由記述)

--

問33 あなたが現在働いている職場の好きなところ、職場の良い点は何ですか。(自由記述)

--

問34 あなたが現在働いている職場において、改善してほしいことはどんなことですか。率直にお答えください。(自由記述)

--

## IV. 今後の就業意向についておうかがいします。

問35 今後の就業意向について、あなたの考えにもっとも近いもの1つをお答えください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 現在の施設で保育士として働きたい ⇒ 問 36 へ |
| 2. 他施設で保育士として働きたい ⇒ 問 37 へ   |
| 3. 保育士以外の仕事で働きたい             |
| 4. 仕事はしない                    |
| 5. 未定 ⇒ 問 37 へ               |

問36 問 35 で「1. 現在の施設で保育士として働きたい」と回答した方におうかがいします。

現在の施設で保育士として働きたい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○) そのうち、最も大きな理由は何ですか。

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 福利厚生が充実している        | 10. 保育士配置が充実している         |
| 2. 子育て中や介護中の職員への配慮がある | 11. メンタル面でのケアが充実している     |
| 3. 通勤が便利              | 12. 教育・研修体制が充実している       |
| 4. 職場の人間関係がよい         | 13. キャリアアップの機会がある        |
| 5. 勤務時間が希望に合っている      | 14. 仕事に関する相談支援体制が充実している  |
| 6. 休暇が取りやすい           | 15. 定年後も働ける仕組みがある        |
| 7. 給与が希望に合っている        | 16. 保育理念・方針が自分の考えと一致している |
| 8. 時間外勤務を軽減する体制がある    | 17. 保護者との関係が良好である        |
| 9. 事故予防や安全対策が充実している   | 18. その他 ( )              |

上記で選択した番号のうち、最も大きな理由 (あてはまる番号1つ記入) ⇒ ( )

問37 問 35 で「2. 他施設で保育士として働きたい」と回答した方におうかがいします。

他施設で働きたい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○) そのうち、最も大きな理由は何ですか。

- |                    |                            |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 出産・育児のため        | 11. 書類作業など保育以外の仕事の負担が大きいため |
| 2. 結婚のため           | 12. 職員数が少なく、1人にかかる負担が大きいため |
| 3. 本人の健康問題のため      | 13. 教育・研修体制が充実していないため      |
| 4. 家族の健康問題・介護のため   | 14. キャリアアップの機会がないため        |
| 5. 通勤が困難なため        | 15. 雇用期間が満了するため            |
| 6. 職場の人間関係がよくないため  | 16. 保育の理念・方針が自分の考えと合わないため  |
| 7. 時間外勤務が多いため      | 17. 施設の運営や危機管理に疑問があるため     |
| 8. 休暇が取れない、取りづらいため | 18. 保護者との関係がよくないため         |
| 9. 給与に不満があるため      | 19. その他 ( )                |
| 10. 福利厚生が不十分なため    |                            |

上記で選択した番号のうち、最も大きな理由 (あてはまる番号1つ記入) ⇒ ( )

問38 問35で「3. 保育士以外の仕事で働きたい」「4. 仕事はしない」と回答した方におうかがいします。

その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○) そのうち、最も大きな理由は何ですか。

1. 出産・育児のため	11. 給与に不満があるため
2. 結婚のため	12. 書類作業など保育以外の仕事の負担が大きいため
3. 本人の健康問題のため	13. 身体的な負担が大きいため
4. 家族の健康問題・介護のため	14. 責任の重さ、事故への不安があるため
5. 通勤が困難なため	15. キャリアアップの機会がないため
6. 進学のため	16. 雇用期間が満了するため
7. 他分野（保育以外）への興味	17. 定年退職のため
8. 職場の人間関係がよくないため	18. 保育士に向かないのではないかと感じるため
9. 時間外勤務が多いため	19. 保護者との関係がよくないため
10. 休暇が取れない、取りづらいため	20. その他 ( )

上記で選択した番号のうち、最も大きな理由(あてはまる番号1つ記入) ⇒ ( )

問39 これまでに、勤務先(保育に関する仕事に限る)を退職した経験はありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. ある ⇒ 問40へ	2. ない ⇒ 問42へ
--------------	--------------

問40 問39で「1. ある」と回答した方におうかがいします。

直近に退職した勤務先はどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 公立保育所	7. 特例保育事業(認可)
2. 私立保育所(認可)	8. 事業所内保育事業(院内保育施設含む)
3. 公立認定こども園	9. 企業主導型保育事業
4. 私立認定こども園(認可)	10. 8, 9以外の認可外保育施設
5. 小規模保育事業(認可)	11. その他 ( )
6. 家庭的保育事業(認可)	

問41 問39で「1. ある」と回答した方におうかがいします。

勤務先を退職した理由は何でしたか。(あてはまる番号すべてに○) そのうち、最も大きな理由は何ですか。

1. 結婚、出産・育児のため	10. 時間外勤務が多いため
2. 本人の健康問題のため	11. 休暇が十分に取れない、取りづらいため
3. 家族の健康問題・介護のため	12. 給与に不満があるため
4. 通勤が困難・時間がかかるため	13. 保育士ひとり一人に対する負担が大きいため
5. 進学のため	14. 福利厚生が不十分なため
6. 他施設へ転職	15. 雇用期間が満了、定年退職のため
7. 他分野(保育以外)への興味、転職	16. 保育の理念・方針が合わないため
8. 教育・研修体制が不十分、キャリアアップの機会がないため	17. 保護者との関係がよくないため
9. 職場の人間関係がよくないため	18. その他 ( )

上記で選択した番号のうち、最も大きな理由(あてはまる番号1つ記入) ⇒ ( )

## VI. 職場の働き方改革や資質向上についておうかがいします。

問42 あなたが現在勤務している施設においては、職員が安心して働き続けられるように、負担軽減のための業務方法の見直しなど、働き方改革の取組はされていますか。(あてはまる番号1つに○)

(例) 保護者との情報共有や登降園管理などへのICTの活用、保育補助者の活用、記録・書類業務の見直し・工夫、休暇・休憩がとりやすいシフト運用など

1. している ⇒ 問43へ      2. していない ⇒ 問44へ      3. わからない ⇒ 問44へ

問43 問42で「1. している」と回答した方におうかがいします。

①～⑤の項目について、(1)取組の有無、(2)取組内容、(3)取組による業務負担軽減への効果について、それぞれお答えください。

項目		(1) 取組の有無 (あてはまる番号1つに○)	(2) 取組内容 (「1. 取組あり」と回答した項目について) 答えられる範囲で、取組内容をお答えください	(3) 業務負担軽減への効果 (あてはまる番号1つに○)
①	<b>ICTの活用</b> (例: 保護者との情報共有・お知らせ、登降園管理のアプリ活用等)	1. 取組あり 2. 取組なし		1. 軽減された 2. やや軽減された 3. あまり軽減されていない 4. 軽減されていない 5. わからない
②	<b>保育補助者の活用</b>	1. 取組あり 2. 取組なし		1. 軽減された 2. やや軽減された 3. あまり軽減されていない 4. 軽減されていない 5. わからない
③	<b>記録・書類業務の見直し、工夫</b> (例: 保育記録や計画の作成方法や内容の見直し、内容が重複する書類の見直し等)	1. 取組あり 2. 取組なし		1. 軽減された 2. やや軽減された 3. あまり軽減されていない 4. 軽減されていない 5. わからない
④	<b>働き方を見直し</b> (例: ノンコンタクトタイム※の確保、会議の工夫等) ※休憩時間とは異なり、勤務時間中に子どもと関わらずに事務作業や打合せなどの業務をする時間のこと	1. 取組あり 2. 取組なし		1. 軽減された 2. やや軽減された 3. あまり軽減されていない 4. 軽減されていない 5. わからない
⑤	<b>その他</b>	1. 取組あり 2. 取組なし		1. 軽減された 2. やや軽減された 3. あまり軽減されていない 4. 軽減されていない 5. わからない

問44 あなたは、現在働いている職場において、業務を支援するアプリやシステムなどICTを導入したい(PCやタブレット、スマートフォンを用いて業務したい)と思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- |                    |   |      |
|--------------------|---|------|
| 1. 導入したい           | } | 問45へ |
| 2. どちらかといえば導入したい   |   |      |
| 3. どちらでもない         | } | 問46へ |
| 4. どちらかといえば導入したくない |   |      |
| 5. 導入したくない         |   |      |
| 6. すでに導入されている      |   |      |

問45 問44で「1. 導入したい」「2. どちらかといえば導入したい」と回答した方におうかがいします。

どのような業務で導入したいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 保護者への連絡	8. 週案、日案の作成
2. 子どもの登降園管理	9. 写真や動画の管理、販売
3. 保育日誌の作成	10. 園だより等配布物の作成
4. 毎日の子どもの連絡帳や保育記録の作成	11. 集金管理
5. 子どもの個人記録(身体測定等含む)の作成	12. 職員間の情報共有
6. 子どもの基本情報や連絡先等の入力、管理	13. その他( )
7. 指導計画などの計画作成	

問46 あなたは、保育士として資質向上(保育業務のレベルアップ)のために①現在、どのような取組をおこなっていますか。

また、②今後どのような取組を行いたいですか。(それぞれあてはまる番号すべてに○)

	①現在取り組んでいるもの	②今後取り組みたいもの
1. 自施設内の研修への参加	1	1
2. 自治体が行う研修や講演会等への参加	2	2
3. 保育関連団体等、自治体以外が行う研修や講演会等への参加	3	3
4. 専門書等での自主的な勉強	4	4
5. 先進的な取組を行う他の施設への見学	5	5
6. その他( )	6	6
7. 特にない	7	7

問47 保育士として資質向上(保育業務のレベルアップ)のために、学びたい知識や技術は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 発達に応じた環境づくり	6. 食育、離乳食
2. 発達に応じた遊びや制作活動	7. 障がい児保育(障がい特性の理解等含む)
3. 発達に応じた運動	8. 保育計画、日案、週案等の作り方
4. 発達心理学	9. その他( )
5. 小児保健	

問48 資質向上(保育業務のレベルアップ)をするにあたっての課題は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 資質向上に取り組む時間がない	5. 自主的に勉強する際の書籍等の選定が難しい
2. 人手が足りず、業務時間内に研修等の受講が難しい	6. その他( )
3. 施設外の研修等の情報が得にくい	7. 特にない
4. 有料の研修等は受けるのを躊躇する	

問49 職場全体で保育の質を高めるため、ご自身の専門性や経験を後輩に伝えていくことも重要です。

あなたは、主任保育士(主幹保育士)や副主任保育士(副主幹保育士)、クラスリーダー等の役職に就きたいと思いますか。

現在、役職に就いている場合は、現在の役職よりも上位の役職に就きたいと思いますか。

1. はい ⇒ 問51へ	3. 主任保育士や副主任保育士、分野別リーダー等の役職がない ⇒ 問51へ
2. いいえ ⇒ 問50へ	





★意見交換会のご協力にあたりまして、下記の個人情報の取扱いについて、お読みください。

【ご回答いただきました個人情報等の取扱いについて】

本アンケートは、奈良県内の保育施設で働く保育士の方に所属の保育施設を通じてお送りしています。

- 1.ご記入いただいた氏名、メールアドレス、その他の個人情報は、当社の「個人情報保護方針」(<http://www.murc.jp/corporate/privacy/>) 及び、「個人情報の取扱いについて」(<http://www.murc.jp/privacy/>) に従って適切に取り扱います。
- 2.お預かりした個人情報は、意見交換会への案内のご連絡のために利用し、厳重に管理いたします。ご回答内容はすべて統計的に処理いたします。それぞれの調査票の結果やご回答が他に知られることはございません。
- 3.お預かりした個人情報は、法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供いたしません。
- 4.お預かりした個人情報は、業務委託により当社以外の第三者にその取り扱いを委託する場合がございます。そうした場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約によって個人情報の保護水準を守るよう定め、個人情報を適切に取り扱います。
- 5.個人情報（お名前、メールアドレス等）のご記入は任意です。
- 6.お預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止等若しくは利用目的の通知のご請求、または個人情報に関する苦情のお申し出、その他の問い合わせにつきましては、下記までご連絡ください。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
住所 東京都港区虎ノ門5-11-2  
代表取締役社長 池田 雅一

(個人情報の取り扱いに関するお問い合わせ先)  
政策研究事業本部 研究開発第1部 (大阪) (担当)  
〒530-8213 大阪市北区梅田2-5-25ハービスOSAKA  
TEL e-mail

問53 上述の個人情報の取扱いをお読みいただいた上で、お名前やご連絡先等をご記入いただくことに、ご了承いただけますか。  
(あてはまる番号1つに○)

- |                               |          |
|-------------------------------|----------|
| 1. 了承する ⇒下記で連絡先等の入力をお願いいたします。 | 2. 了承しない |
|-------------------------------|----------|

「参加してもいい」と回答された方でご連絡先等のご記入にご了承いただける方は、下記をご記入ください。

お名前 (カタカナ ※名字だけでも可)	
メールアドレス	
または連絡がつく方法 (メールアドレスをお持ちでない場合)	

問54 参加したい日程 (あてはまる番号1つに○)

- |  |
|--|
| 1. 11月11日(土) 開催場所: 奈良県社会福祉総合センター (近鉄畷傍御陵前駅より徒歩約3分) |
| 2. 11月18日(土) 開催場所: JRもしくは近鉄奈良駅周辺                   |
| 3. どちらでもよい   |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

# 保育士養成校 調査票

回答の入力方法・注意事項は別シート(「調査の趣旨・回答の入力方法等」)に記載しておりますので、ご一読ください。

[調査の趣旨・回答の入力方法等](#)

貴校名	
-----	--

## 卒業生の就職状況について

問2 令和2～4年度の卒業生について、就職等の状況を奈良県内・県外別で、それぞれ数字でご記入ください。

	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	
保育所		人		人		人
うち奈良県内施設		人		人		人
うち奈良県外施設		人		人		人
認定こども園		人		人		人
うち奈良県内施設		人		人		人
うち奈良県外施設		人		人		人
地域型保育事業		人		人		人
うち奈良県内施設		人		人		人
うち奈良県外施設		人		人		人
幼稚園		人		人		人
その他保育施設		人		人		人
他業種		人		人		人
進学		人		人		人
在家庭		人		人		人

## 近年の学生の就職傾向について

問3 最近の学生が就職先として選ぶ保育施設の傾向について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |  |    |                                     |  |
|--|----|-------------------------------------|--|
|  | 1  | 初任給や給与が業界平均より高め                     |  |
|  | 2  | 福利厚生が手厚い                            |  |
|  | 3  | 働いている保育士の平均勤続年数が長い、離職率が低い           |  |
|  | 4  | 勤務地が自宅から近い                          |  |
|  | 5  | 施設が新しい                              |  |
|  | 6  | 教育実習の受入れに積極的                        |  |
|  | 7  | 人材育成制度や研修制度が整っている                   |  |
|  | 8  | 職場の雰囲気が良い                           |  |
|  | 9  | 就職情報へのPRや広報に積極的                     |  |
|  | 10 | 在籍者に卒業生(OB,OG)が多い                   |  |
|  | 11 | 特色のある保育を行っている                       |  |
|  | 12 | 勤務時間など多様な働き方ができる                    |  |
|  | 13 | 正規職員としての採用                          |  |
|  | 14 | 労働条件が良い(休暇の取得しやすさ、時間外勤務が少ない、育休制度など) |  |
|  | 15 | ICT環境など施設環境が整っている                   |  |
|  | 16 | その他 → 具体的に                          |  |
|  | 17 | わからない                               |  |
|  | 18 | 特になし                                |  |

問4 最近の学生の卒業後の進路傾向についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |  |   |                              |  |
|--|---|------------------------------|--|
|  | 1 | 保育士職につく学生が以前より減ってきている        |  |
|  | 2 | 保育士職につく学生が以前より増えている          |  |
|  | 3 | 公立の保育施設を選ぶ学生が多い              |  |
|  | 4 | 私立の保育施設を選ぶ学生が多い              |  |
|  | 5 | 勤務地を重視して就職する施設を選ぶ学生が多い       |  |
|  | 6 | 保育理念や保育方針を重視して就職する施設を選ぶ学生が多い |  |
|  | 7 | 給与や福利厚生などを重視して就職する施設を選ぶ学生が多い |  |
|  | 8 | その他 → 具体的に                   |  |
|  | 9 | わからない                        |  |

## 貴校における就職支援などについて

問5 貴校で学生に対し実施している就職支援策についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |                          |   |                                |                             |
|--------------------------|---|--------------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 | 早い時期での個別のキャリアガイダンスや進路相談        |                             |
| <input type="checkbox"/> | 2 | 施設見学会                          |                             |
| <input type="checkbox"/> | 3 | 就職フェアや保育所等を集めての説明会の実施          |                             |
| <input type="checkbox"/> | 4 | 求人情報の提供                        |                             |
| <input type="checkbox"/> | 5 | 現役保育士や若手保育士(OB・OG)を招いてのセミナーの開催 |                             |
| <input type="checkbox"/> | 6 | 自分に合った仕事や就職先の選び方を学ぶセミナーの開催     |                             |
| <input type="checkbox"/> | 7 | 保育施設の面接に備えたセミナーの開催(面接の練習等)     |                             |
| <input type="checkbox"/> | 8 | その他                            | → 具体的に <input type="text"/> |

問6 貴校において、卒業生に対して行っている就職支援策についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |                          |   |                 |                             |
|--------------------------|---|-----------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 | 就職後の相談・フォローの実施  |                             |
| <input type="checkbox"/> | 2 | 個別の進路相談         |                             |
| <input type="checkbox"/> | 3 | 求人情報の提供         |                             |
| <input type="checkbox"/> | 4 | 求人情報と求職者とのマッチング |                             |
| <input type="checkbox"/> | 5 | 卒業生向けのセミナーの開催   |                             |
| <input type="checkbox"/> | 6 | 体験実習等の実施        |                             |
| <input type="checkbox"/> | 7 | その他             | → 具体的に <input type="text"/> |

問7 貴校において、就職後の早期離職を防ぐために行っている支援や取組についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |                          |   |                         |                             |
|--------------------------|---|-------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 | 就職後も相談できる窓口の設置          |                             |
| <input type="checkbox"/> | 2 | 求人票の内容を理解させる(読み取り方を教える) |                             |
| <input type="checkbox"/> | 3 | 職場の説明会や見学会に出席させる        |                             |
| <input type="checkbox"/> | 4 | 就職している先輩から説明を受けたり、話を聞く  |                             |
| <input type="checkbox"/> | 5 | 保育者としての職務内容を理解させる       |                             |
| <input type="checkbox"/> | 6 | 社会人としての自覚を持たせる          |                             |
| <input type="checkbox"/> | 7 | その他                     | → 具体的に <input type="text"/> |

問8 貴校において、保育士が身につけるべき資質能力の育成に向けて取り組まれていることなどあれば、お教えてください。

## 行政や保育関係団体等による必要な制度や支援について

問9 行政や保育関係団体等から、どのような支援や制度があれば、保育士を目指す学生が増えると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1 保育士の処遇改善(給与・職場環境等)                   |
| <input type="checkbox"/> | 2 保育士の魅力を広めるイベント等の開催                   |
| <input type="checkbox"/> | 3 保育士を目指す学生向けの相談窓口                     |
| <input type="checkbox"/> | 4 SNS等学生世代に届きやすい方法での保育士の魅力の発信          |
| <input type="checkbox"/> | 5 インターンシップや施設見学など、実習以外に保育現場を体験できる機会の充実 |
| <input type="checkbox"/> | 6 保育士としての就業後にいつでも相談できる窓口の設置            |
| <input type="checkbox"/> | 7 最新の保育知識・技能等を学ぶ研修の開催                  |
| <input type="checkbox"/> | 8 地域の保育所等の情報の集約・発信                     |
| <input type="checkbox"/> | 9 学生の保護者や高校等の学校に向けた保育士の仕事に関するガイダンスの実施  |
| <input type="checkbox"/> | 10 その他 → 具体的に <input type="text"/>     |

問10 保育士を目指す学生が増えるため、また奈良県で保育士として働きたいと思う学生が増えるためのご意見やご提案などがありましたら、ご自由にご記入ください。

ご回答は以上となります。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

**令和5年10月27日(金)までに、専用メールアドレスにご回答いただいたファイルを送信してください。**

専用メールアドレス



### Ⅲ. 保育士への就職希望などについて

問7 あなたは保育士としての就職を希望していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 希望している	2. 希望していない	} 問13へ
	3. まだわからない	

問8 問7で「1. 希望している」と回答した方にお伺いします。保育士への就職を決めた理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 昔からの夢だから	6. 先輩や友人知人などが保育士として楽しそうに働いているから
2. 子どもが好きだから	7. 就職に困らないと思うから
3. 自分にあっていると思うから	8. 資格があるので、辞めることがあってもまた働きやすいから
4. 実習に行き、保育士になりたいと思ったから	9. その他 ( )
5. 学校の講義などを通して、保育士になりたいと思ったから	

問9 問7で「1. 希望している」と回答した方にお伺いします。就職先を考える上で重視する(重視した)点は何ですか。(あてはまるもの上位3つに○)

1. 賃金	7. 福利厚生
2. 勤務地・通勤時間	8. 研修や人材育成制度の充実
3. 労働時間	9. 施設環境(きれい、ICT環境が整っている等)
4. 雇用形態	10. 園や職員の雰囲気
5. 保育理念や保育方針	11. その他 ( )
6. 休暇の取りやすさ	

問10 問7で「1. 希望している」と回答した方にお伺いします。すでに保育士(保育教諭)としての就職が決まっていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 決まっている	2. 決まっていない ⇒ 問12へ
-----------	-------------------

問11 問10で「1. 決まっている」と回答した方にお伺いします。就職予定の施設の所在地をお答えください。また、その施設に就職を決めた理由をお教えてください。

- ①就職予定の所在地 ⇒ ( ) 都・道・府・県 ( ) 区・市・町・村  
 ②就職を決めた理由(自由記述)

問12 問10で「2. 決まっていない」と回答した方にお伺いします。現時点で希望している勤務地を3つまで選んでいただき、その理由をお答えください。(理由は、あてはまるものすべてに○)

希望する勤務地		理由(以下の選択肢より選択)
①	( ) 都道府県 ( ) 区市町村	
②	( ) 都道府県 ( ) 区市町村	
③	( ) 都道府県 ( ) 区市町村	

<理由>

1. 通勤が便利	5. 福利厚生の充実
2. 給与	6. 寮や家賃補助制度がある
3. 就業時間など労働条件	7. 実家から近い
4. 当該市町村に就職したい保育施設がある	8. その他 ( )



問13 問7で「2. 希望していない」、「3. まだわからない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                                   |                                  |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 就業時間が希望と合わない                   | 10. 自分の適性・能力への不安（保育士に向かないと感じるため） |
| 2. 賃金が希望と合わない                     | 11. 職場の人間関係に不安がある                |
| 3. 休暇が少ない・休暇が取りにくい                | 12. 人材育成への不安                     |
| 4. 雇用形態（正社員・パートなど）が希望と合わない        | 13. キャリアパスや昇格に不安                 |
| 5. 保護者との関係構築に不安がある                | 14. 時間外勤務が多い                     |
| 6. 業務に対する社会的評価が低い                 | 15. 仕事量が多い                       |
| 7. 自身の健康・体力への不安                   | 16. 他職種への興味                      |
| 8. 責任の重さ・事故への不安                   | 17. 働く必要がない                      |
| 9. 出産、子育て、介護等家庭との両立がむずかしそう（将来も含む） | 18. その他（ ）                       |

問14 問7で「2. 希望していない」、「3. まだわからない」と回答した方にお伺いします。前問で回答したことが解消された場合には、保育士としての就職を希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 希望する  | 3. わからない |
| 2. 希望しない |          |

#### 全員にお伺いします

問15 どのような支援や制度があれば、保育士を目指す学生が増えると思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

- |   |                              |
|---|------------------------------|
| 1. 保育士の処遇改善（給与・職場環境等）                   | 6. 保育士としての就業後にいつでも相談できる窓口の設置 |
| 2. 保育士の魅力を広めるイベント等の開催                   | 7. 最新の保育知識・技能等を学ぶ研修の開催       |
| 3. 保育士を目指す学生向けの相談窓口                     | 8. 地域の保育所等の情報の集約・発信          |
| 4. SNSでの保育士の魅力の発信                       | 9. その他（ ）                    |
| 5. インターンシップや現場見学など、実習以外に保育現場を体験できる機会の充実 |                              |

## IV. 自由意見

問16 保育士への就職を考えるにあたり感じられている不安や、保育士の労働環境として改善してほしいことなどについてのご意見や、こんな制度があったら、保育士になりたい、保育士として働きたいというアイデアなどがございましたら、ご自由にご記入ください。

## 【問7 保育士としての就職を「1. 希望している」と回答した方のみ】

### 《インタビュー調査 参加者募集》

このたびは、お忙しい中、アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございます。

奈良県では、保育士の確保に向け、保育士への就職を希望している学生の方に、就職先を検討する際の視点や、保育士として働くにあたっての不安、保育士になりたい学生を増やすために必要なことなどについて、学生目線でのリアルな声をお聞きしたいと考えています。

そのため、保育士への就職を希望する学生を対象にインタビュー調査を実施する予定です。

インタビュー調査は下記の概要で開催する予定ですが、インタビュー調査への参加意向をお答えください。

※インタビュー調査でご発言された内容は、発言者が特定されないようとりまとめますので、個人が特定されることはありません。

※「参加したくない」とご回答されても、回答者の皆様に不利益が生じることは一切ありません。

※参加希望者多数の場合には、学年や地域バランス等を考慮して、参加者を選ばせていただく可能性があります。

#### 【開催概要】

○実施時期：2023年12月

○実施方法：zoom等によるオンラインでの個別インタビュー形式

○所要時間：30分程度

○予定人数：5～10名

○謝礼：クオカード1000円

#### 【質問内容イメージ】

- ・保育士を希望する理由
- ・保育士の魅力
- ・保育士として働くにあたって不安なこと
- ・就職先の保育園等を検討する際の視点（重視すること、外せない条件など）
- ・希望する勤務地とその理由、また奈良県でない場合は、奈良県を選ばない理由
- ・保育士になりたいと思う学生、奈良県で保育士として働きたいと思う学生を増やすために必要なこと 等

### 問17 インタビュー調査への参加意向をお答えください。（あてはまる番号1つに○）

1. 参加してもいい ⇒次ページの「個人情報等の取扱い」をお読みの上、問18へ
2. 参加したくない ⇒こちらで調査終了です。

#### ★インタビュー調査のご協力にあたりまして、下記の個人情報の取扱いについて、お読みください。

##### 【ご回答いただきました個人情報等の取扱いについて】

本アンケートは、奈良県内の保育士養成校の学生の方に所属の学校を通じてお送りしています。

- 1.ご記入いただいた氏名、メールアドレス、その他の個人情報、当社の「個人情報保護方針」(<http://www.murc.jp/corporate/privacy/>) 及び、「個人情報の取扱いについて」(<http://www.murc.jp/privacy/>) に従って適切に取り扱います。
- 2.お預かりした個人情報は、インタビュー調査への案内のご連絡のために利用し、厳重に管理いたします。ご回答内容はすべて統計的に処理いたします。それぞれの調査票の結果やご回答が他に知られることはありません。
- 3.お預かりした個人情報は、法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供いたしません。
- 4.お預かりした個人情報は、業務委託により当社以外の第三者にその取り扱いを委託する場合がございます。そうした場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約によって個人情報の保護水準を守るよう定め、個人情報を適切に取り扱います。
- 5.個人情報（お名前、メールアドレス等）のご記入は任意です。
- 6.お預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止等若しくは利用目的の通知のご請求、または個人情報に関する苦情のお申し出、その他の問い合わせにつきましては、下記までご連絡ください。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
住所 東京都港区虎ノ門5-11-2  
代表取締役社長 池田 雅一

（個人情報の取り扱いに関するお問い合わせ先）  
政策研究事業本部 研究開発第1部（大阪）（担当）  
〒530-8213 大阪市北区梅田2-5-25ハービスOSAKA  
TEL e-mail

問18 上述の個人情報の取扱いをお読みいただいた上で、お名前やご連絡先等をご記入いただくことに、ご了承いただけますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. 了承する ⇒下記で連絡先等の入力をお願いいたします。	2. 了承しない
-------------------------------	----------

「参加してもいい」と回答された方でご連絡先等のご記入にご了承いただける方は、下記をご記入ください。

お名前 (カタカナ ※名字だけでも可)	
メールアドレス	
または連絡がつく方法 (メールアドレスをお持ちでない場合)	

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

**奈良県保育士等実態調査報告書**

令和6年3月

編集・発行 奈良県文化・教育・くらし創造部  
こども・女性局 奈良っ子はぐくみ課  
〒630-8501 奈良市登大路町30  
電話 0742-27-8604